

ここが聞きたい 市政をたどす

一般質問



もっと詳しく!!

もっと詳しく子育て支援、財政再建…etc 聞かせてちょうだい。

6月13、14日に行われた質疑・一般質問には、16人の議員が演壇に立ち、議案や市政全般にわたる活発な質問が展開されました。その一部を紹介します。

市民からの提案制度「元気カラーカード」

Q 市民からの提案を受けて実行するための執行者側の体制ができていますか。どのようなものでもい

いから、お金がかからないで効果のあがるものと言う漠然とした提案よりも何か一つテーマを絞ってはどうか。

A 従来からの市民提案箱や市民ふれあいフ

アックスに加え、昨年は市のホームページに市長へのメールを新設し、市民からのご意見やご提案を募っています。が、要望や苦情に関するものが多いのが現状です。

平成5年度から4年間「加西夢大賞」という提案制度を設け、夢のある提案を募集し、ユニークで夢のある提案をたくさんいただきましたが、莫大な経費を必要とするものも多くが実現できませんでした。そこで、財政再建に取り組む中、低コストで市の活性化やイメージアップにつながるために、この提案制度を新設しました。

提案内容が多彩になると考えられるので、実行の方法やフォローを継続的に行うためには、限定せずに内容に応じて対応していきたい。

AED自動体外式除細動機

Q AEDは、昨年の7月から一般市民による使用が認められました。今後の取り組みについて説明してほしい。

A 厚生労働省から非医療従事者が安心してAEDを使用するために、AEDの使用方法についての講



習実施が示されています。

将来的に市の公共施設へのAEDの配備を検討する必要がある、また国体のリハースル大会に合わせて、AED1台の寄贈を受ける予定で、職員に対して職場のみならず地域においても積極的に救命活動に参加できるように、心肺蘇生法並びにAEDの使用方法についての研修会を計画し、本年度より3カ年で、病院及び消防職員を除く全職員に対して研修を実施する予定です。心停止をした人にAEDを使用することによって生命が助かった実例もかなりあり、まずは準備をして、そしてAEDの設置を進めていきたい。

財政再建

Q 16年度末の基金ペー

スで32億6,600万円。財政再建計画は一定の取り崩しを前提としており、それに対して5億6,000万円の改善、14年度末の基金から3億円ぐらい上積みをしている。全国の自治体が三位一体改革の中で事業を執行す

AED (Automated External Defibrillator) 自動体外式除細動器とは、◇心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す医療機器です。◇コンピューターを内蔵し、電極を胸に貼ると心電図を自動的に解析し、機械が電気ショック(通電)を指示します。